

伝統を考える 『進取の気性』

眩しい陽射しを受け、木々の葉が青々と茂り力強く伸びています。同様に、生徒たちも日々の学びの中でたくさんのごことを吸収しながら成長しています。進学や進級の緊張感が解れ、新しい環境にも慣れたからなのか、活動する姿が随分と逞しさを増したように見えます。令和6年度の学びが順調にスタートできたこと、嬉しく感じております。

さて、歴史ある本校に着任して1ヶ月が経ったところで、歴史とセットで語られることが多い「伝統」について考えてみました。「伝統」について調べると、集団や組織で受け継がれてきた思想・習慣・技術等のことという説明がありました。では、本校の

「伝統」は？と考えを巡らせたところ、本校のキャッチコピー「歴史ある学校で新しいことを！」が目にとまり、『進取の気性』という言葉が頭に浮かびました。新しいアイデアや方法を積極的に受け入れ、柔軟に対応する意欲や態度を表す言葉です。簡単に言うと、変化や挑戦を恐れずに、常に新しいことにチャレンジしようとする姿勢になります。歴史ある本校は、特別支援教育におけるフロントランナーとして、最初の、初めての、という取組をたくさん積み重ねてきた学校であることが想像できます。20年以上前に本校に設置されていた「都市園芸科」は、現在の就業技術科や職能開発科へと続く歴史の1ページです。また、最近では「八丈分教室」の設置や「ベースボール部」の取組も、挑戦の歴史に該当するかと思います。こうしたことから、本校の伝統のひとつとして、『進取の気性』に富む学校であることを受け継ぎ、大切にしたいと考えました。予測することが難しいこれからの時代を生きていく生徒たちに、将来の社会環境を見据えた学習を提供できるよう、新たな取組みにチャレンジしてまいります。引き続き、本校の教育活動への御理解と御協力をお願いいたします。

4月トピックス

新入生歓迎会を実施しました！

4月19日に部活動紹介、4月26日に新入生歓迎会を実施しました。

部活動紹介では、「ベースボール部」「陸上部」「総合文化部」「表現活動部」が部活の特色などを発表しました。

新入生歓迎会では、2年生、3年生からの入学おめでとうのメッセージ動画、1年生の自己紹介などの発表がありました。

